

## 5 コミュニティーネットワーク・宝（南区）

### 地域自主防犯活動活発化促進事業

#### 実施結果報告書

1 団体名	コミュニティネットワーク・宝
2 事業名	待つ・確認・相談（特殊詐欺よ、さようなら）
3 事業実施 結果	<p>コミュニティネットワーク・宝（以下「コミネット」という。）は名古屋市南区宝小学校区内で活動している、ボランティア団体です。現在の隊員は50名程度で、交通安全・生活安全・健康について学ぶほか、見守り活動を通して意見交換をしています。情報の共有をして地域を知る事を重要点としています。</p> <p>過去2回、防犯について今回と同じように委託事業を実施しました。現在も広報誌で防犯・交通安全についての注意喚起を広報誌の発行・パトロールを通じて実施、継続して活動をしています。</p> <p>今回の事業においては、地域における特殊詐欺被害の防止を図るため、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、特殊詐欺の実態について学ぶ。</li> <li>2、ATM 設置の金融機関・コンビニ等への注意喚起のステッカーの配布。</li> <li>3、地域住民へのチラシ・啓発グッズの配布。</li> </ol> <p>以上3点を重点課題として事業を計画しました。</p> <p>数年前より多数の被害が発生している状況にある振り込め詐欺、還付金詐欺等については、様々な手口が存在し、過去によく見られたはがきによるもの、パソコン・携帯メールによるものと、年齢に関係なく誰でも被害にあう可能性があります。被害を防ぐためには、それぞれの特徴、対応等を学び、知識を得る必要があります。</p> <p><b>1 詐欺の実態について学ぶ。</b></p> <p>南警察署生活安全課の係長による「特殊詐欺の現状と対策」と題した講演会を実施しました。（11月30日 宝コミュニティセンターで開催）</p> <p>詐欺の種類として、オレオレ詐欺・還付金詐欺・架空請求詐欺・プリペイドカード詐欺・はがきによる訴訟詐欺・メールによる詐欺と様々な種類の詐欺があることを学びました。</p>

高齢者だけでなく、年齢に関係なく被害が出ており、被害金額も大きくなっているとのことでした。

過去に多かった「はがき」による詐欺もあるとのこと。古い手口が、人が忘れた頃、記憶が薄れた頃に新しい方法として復活することがあると学びました。「私だけは大丈夫」という思い込みも多いと感じました。過信、無関心もいけないことだと学びました。

**コミネット ニュース**  
No.30 コミネット・宝 発行 平成29年10月10日


**地域の自主防犯活動活性化促進事業、委託団体に選ばれました！**

愛知県が掲げる「あいちビジョン2020 犯罪がなく安心して暮らせる地域社会の実現」のため、地域の自主防犯活動を活性化を図ることを目的とした事業の委託を受け、今年度コミネット・宝では特殊詐欺対策について活動をすすめていくことになりました。


振り込め詐欺を含む特殊詐欺の被害は年々増加しています。その手口も巧妙なものとなり、高齢者や女性の被害が多くなっています。被害を受けた9割以上の方が「自分は大丈夫」と思っていたといわれています。相手はプロの犯罪者です。日ごろから最新の情報を共有し、対策すべきではないでしょうか。

活動内容については下記のような啓発品の配布、講演会の開催を予定しています。

啓発品について



スイング POP



電話や目につきやすい場所に貼ることができるシール

警察の方を招いての「特殊詐欺の現状と対策(仮題)」の講演会は下記のとおり開催いたします。

日 時	平成29年11月30日(木)	13:30~14:30	受付13:00~
場 所	宝コミュニティセンター		

自分の生活を守るには、常に新しく正しい情報を得て対策をたてることです。近隣の方を誘って是非参加してください。



講演会の様子

## 2 啓発品の作製

ステッカー・チラシ・ポスター等の啓発品を作成しました。



今回作成の啓発グッズ

スイング POP

シール入りポケットティッシュ

被害に遭わないため、普段から目にするかたちで注意喚起できるものを企画・考案するため、コミネットの役員で数回話し合い、検討しました。

その案を持ち、南警察署生活安全課及び防犯協会とも相談し、各家庭や金融機関等で活用できるスイング POP と、シール入りポケットティッシュを作成することに決定。私たちの団体名では認知度が小さいため、啓発品に南警察署の文字入れを許可いただきました。

チラシについては業者印刷では費用が掛かるため、コミネット広報誌拡大版として学区町内会用・会員対象用を作成して、配布しました。

### 3 啓発品の配布

学区協議会で、町内会長に啓発ポケットティッシュのサンプル品を配布して、希望に応じて各町内に配布することとしました。多数の町内会が興味を示してくださいました。

宝学区においては、交番協議会（隣接する学区連・地域企業が構成員）で他学区の委員長にも協力いただき、ポケットティッシュを配布を依頼することができました。

また、独居老人給食会において、スイング POP 及びポケットティッシュを配布するとともに、詐欺の実態や手口についてお話しするとともに、啓発品の使い方を説明しました。

さらには、南警察署生活安全課を通じて、郵便局及びコンビニエンスストアの会合で啓発品を配布していただきました。後日郵便局の ATM 周辺にスイング POP が貼られていることが確認できました。



金融機関防犯対策会議での啓発品贈呈



啓発品の説明（高齢者給食会）



シール・スイング POP の  
取り付け例

金融機関での啓発活動も実施しました。年金支給日にあたる12月15日には、学区内の郵便局・銀行近くにおいて啓発活動を実施し、多くの方に特殊詐欺の被害防止を呼びかけることができました。

<p>4 成果と課題 及び今後の 取組み</p>	<p>(1) 事業実施の成果及び課題、今後の取組み</p> <p>今回の活動は短期間であったため、まだまだ説明不足だったり、認識が不足していたりしたことがあります。</p> <p>地域においては高齢化が進んでおり、啓発活動も主に高齢者を対象に実施してきましたが、子育て中の世代や中高生、社会人にもアプローチができればと考えています。</p> <p>無関心世代、何も知らない世代が様々な犯罪の被害者、加害者として巻き込まれる事件が起こっています。犯罪に対する知識や認識について啓発していくことを通じて、幅広い世代と対話できればと思っています。</p> <p>そんな私たちも、特殊詐欺についてはまだまだ学ぶべきことが多く、対応が追い付かないのが現状です。新聞を購読しない、テレビでニュースを見ない、他人とのつながりも薄い現代において、情報をいかに得て、伝えるかが重要になっています。</p> <p>今回の事業において、講演会の参加者や啓発品を受け取っていただいた方には引き続き、広報誌・地域の集まり、生活安全パトロール等で注意喚起をしていきたい。また、金融機関やコンビニエンスストアとも、引き続き協力しながら啓発活動を進めていきたい。</p> <p>「時代はめぐる」を合言葉に、地域の皆さんが正しい情報を得られ、安心して安全に暮らせるように活動を継続していきたいと考えています。</p>
----------------------------------	---